

2月のおすめ本

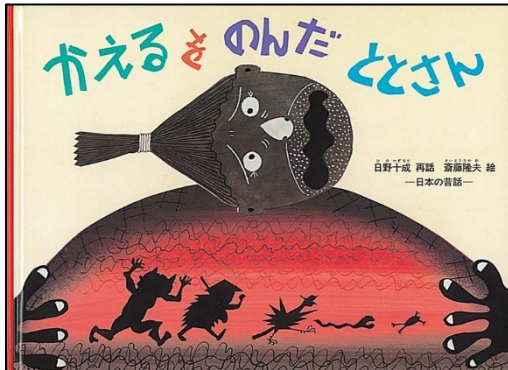


がつ にち せつぶん
2月3日は節分!



おにはそと ふくはうち♪

『 **かえるをのんだととさん** にほん むかしはなし **日本の昔話** 』



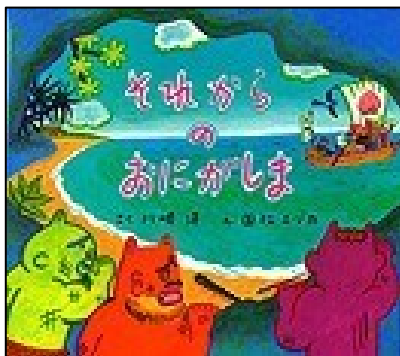
ひの かずなり/さいわい さいとう たかあ/え
白野 十成/再話, 斎藤 隆夫/絵
みくいんかんしょてん **E/サ 2008年発行**

あるところに、仲の良^{なか}いととさんとかかさんが住^すんでいました。
お腹^{なか}が痛^{いた}くなったととさんは、かかさんに言^いわれ、お寺^{てら}の和尚^{おしょう}さま
の元^{もと}へ向^むかいます。和尚^{おしょう}さまから原因^{げんいん}はお腹^{なか}の中^{なか}にいる虫^{むし}のせい
なので、かえるを飲^のむと良^よいと言^いわれたととさんは…。



『 **それからのおにがしま** 』

かわさき ひろし/さく、くしまつ エリカ/え
川崎 洋/さく, 国松 エリカ/え
いわさきしょてん **E/ク 2004年発行**



むかしむかしあるところに…桃太郎^{ももたろう}一行^{いっこう}に負^まけて
しまっ^{おとな}てすっかり大人^{おとな}しくな^{おに}った鬼^{おに}たちがいました。
かれらは島^{しま}に建^たてられた小^こ屋^やにど^{はこ}んどん運^こび込まれ、
きず^いやを癒^いしていました。つきひが経^{つきひ}ち、そ^{おにがしま}んな鬼^{おにがしま}ヶ島^{がしま}に
わた^{わた}ふね^{ふね}が通^{かよ}うように。最^{さいしょ}初^{しょ}にや^{むら}ってき^{むら}たのは村^{むら}の
こどもたちで…。

おにたいじ ^お鬼退治^あが終^{はなし}わった後^あ、それ^{はなし}からの話^{はなし}。

『 **まめまきこびとのおはなし** 』

まつい のに/さく
まつい のに/さく
どうしんしゃ **E/マ 1986年発行**



せつぶん^{ほうろく}のよ^{まめ}る。まめまきこびとは焙^{まめ}烙^{よう}で、豆^{まめ}まき用^{よう}の
まめを炒^いっています。明^{あした}日^{りっしゅん}は立^{せつぶん} 春^{はる}。節^{おとす}分^すは春^{はる}の訪^{おとす}れです。
「まめまきの まめ ちょうだい」と色^{いろ}々^{いろ}なと^{いろ}もだちが
や^きって来^きます。まめまきこびとは、み^あん^あな^あにまめをわ^あけて
あ^{ぜんぶ}げ^おますが、全^あ部^あまめをまき終^{あと}わった後^あ才^あ二^あが現^{あらわ}れて…。

